

其時出羽は中將の官職弔戮の人記録は見
へし今庄月の徳山は二位三位在中將在
中將お少細云侍從と稱する氣流あり是
皆私の義よりして睦の事ありあはれなる
法を志しに猥に稱するものなり公義は
此れありて多度禁せられし事なり又
桃林院は勇心見義大居士貞享に丁卯年
六月十七日俗名某乙とあり土人中將
佐藤子といふ乙方より乙子あり一人は仙人
沃は入て出家し新来を志し一人は科沃

材は佐一人は樺材は佐一人は孫は今
より樺といふ其俗を志し又土人は彼
悪臣取の爲に亡しといふ佐用志し
悪臣取は天正九年己三月戦死中將佐父子
死去の年号に云あり又進て鐸ぬへし

一兩石権現

同村はあり吹津海面の勅達なり社内は
而も海院と出づるれあり羽鳥派の御
詣なり村の過子に追ふあり石面は向て
ハ羽鳥山階石あり而も小松神社と彫